



完成した「リスのアニマルパスウェイ」
＝千種区の東山動物園で

リスに安全な空中通路

東山動物園 サポーター寄付金で

東山動物園(千種区)内 危険があったという。

の「小鳥とリスの森」に、費用二百七十万円は飼育リスが地上に下りず園路を横断できるようにする「アニマルパスウェイ」が新設され、製作費を寄付した親子らを招いた贈呈式が十九日、園内であった。

地上三層の高さに一辺五層ほどのひし形状の通路を設け、園路両脇の林の間を自由に行き来できるようにした。これまではリスが地上を横断し、混雑時に来園者に踏まれそうになるなど

環境の充実を図る「動物園サポーター制度」による寄付金でまかなった。サポーターを代表して中村区の西川暢子さん(三七)、よしのさん(七七)親子が飼育員らに目録を手渡した。

リスがまだ慣れておらず、この日は残念ながら通路を使う姿は見られなかったが、よしのさんは「リスたちが楽しく遊んでくれたらうれしい」と話していた。(安藤孝憲)